



当日のタックル

**Tackle Guide**  
メヌケ仕掛けにアブラボウズがヒットすることもあるので、一番下のハリを大きめ、枝スを太めにしておくのも一手だ。

4時20分に出船し、航程2時間弱で釣り場に到着。「アブラボウズとメヌケ両方出る場所だよ」と船長。私が座る左舷は全員アブラボウズ狙いの極太仕掛けでスタンバイ。私は下バりにスルメイカの1杯掛け、上バりにタチウオのハラモを付け、併せてアブラボウズに効果が高いアピルアイテム、15センチサイズの夜光タコベイトも付けてみた。「はい、やるよ、トモからね」

「きたよ！」  
右ミヨシの木村さんの竿に重量感タップリのアタリ。「この瞬間がたまらないんだよ」と笑顔で電動巻き上げの

「はい、やるよ、トモからね」  
「アブラボウズとメヌケ両方出る場所だよ」と船長。私が座る左舷は全員アブラボウズ狙いの極太仕掛けでスタンバイ。私は下バりにスルメイカの1杯掛け、上バりにタチウオのハラモを付け、併せてアブラボウズに効果が高いアピルアイテム、15センチサイズの夜光タコベイトも付けてみた。

「きたよ！」  
右ミヨシの木村さんの竿に重量感タップリのアタリ。「この瞬間がたまらないんだよ」と笑顔で電動巻き上げの

▼お土産がメヌケとは……なんともぜいたくなりレール釣りだ



木村さんの仕掛けが上ると3名のラインとオマツリしている。ヒヤツとしたが、2本のギャフが打たれ、15キロ級が無事船内に取り込まれた。右2番の住吉さんにもアタリがきたようだが、低速で慎

潮でえ動けば……

潮でえ動けば……  
「なんんだか潮が止まっちゃったね」と船長。その後はアブラボウズ主体の根、メヌケが多い根と転々と探ったが、潮が流れないと食い渋るのだから、両魚とも音さたなしの流しが続く。「型は少し小さくなるけど、浅場のメヌケ主体の場所をやってみよう」  
水深は300メートル。ここでは着底と同時に数人に明確なアタリ。  
富田さん、志田さん、土生さんらが1キロ級のメヌケを上げる。  
ドンコが上がって苦笑いの人もいたが、ともあれアタリがあると船上が活気づく。

潮でえ動けば……  
「なんんだか潮が止まっちゃったね」と船長。その後はアブラボウズ主体の根、メヌケが多い根と転々と探ったが、潮が流れないと食い渋るのだから、両魚とも音さたなしの流しが続く。「型は少し小さくなるけど、浅場のメヌケ主体の場所をやってみよう」  
水深は300メートル。ここでは着底と同時に数人に明確なアタリ。  
富田さん、志田さん、土生さんらが1キロ級のメヌケを上げる。  
ドンコが上がって苦笑いの人もいたが、ともあれアタリがあると船上が活気づく。

船宿information

茨城県平潟港  
**第15隆栄丸**  
☎0293-46-3980  
(詳細は巻末の情報欄参照)  
▶料金=アブラボウズ&メヌケ乗合 (料金は電話確認) 氷付き  
▶備考=予約乗合、出船時間は電話確認。中深場根魚五目、ヤリイカも受付



鈴木 和次船長

この場所で4回流して私も2キロ級を頭に3尾のメヌケをゲット。  
締めくりりは右トモの土生さんが上げた5キロ級のマダラで、沖揚がりとなった。  
ここ数年の海況の変化で回遊が見られなかったマダラだけに「久びさに見たよ」と船長も大喜び。  
当日の釣果はアブラボウズが船中2本。0.5〜2キロのメヌケが0〜3尾(メヌケがオデコの人は最後までアブラボウズを狙っていた)。  
潮さえ動いてくれれば……という一日であったが、アブラボウズ&メヌケのリリース釣りは例年5月までが釣期。乗っ込みが本格化する春本番に向け期待は高まるばかりだ。



▲アブラボウズは周年狙えるが、数型ともに期待が高まる春が狙い目

旬の沖釣りをエンジョイ!

今がチャンス!  
これから楽しみ!

釣りどきレポート

Best Season Report

春本番に向けて好期を迎える釣りが盛りだくさんの3月。今回は期間限定の魅力的なリレー釣りを2本立てで紹介します。

春がチャンス!の深海リレー釣り 平潟名物アブラボウズ&メヌケ

茨城県平潟港の第15隆栄丸が周年アブラボウズ狙いでスポット出船を受け付けているのはファンならご存じだろうが、春になるとこれにメヌケ(アコウダイ)が多く交じって釣れるようになる。  
北茨城海域のアブラボウズは水深500〜700メートル前後に多く生息しているが、この水深ではメヌケはたまに交じる程度。  
しかしこれから産卵期を迎えると、メヌケの魚影が濃い水深400メートル以浅にアブラボウズが乗っ込んでくるためメヌケとの両狙いができるといわけだ。  
釣行したのは1月下旬。9名の釣り人が乗り込み、航程2時間ほどで平潟沖に到着。まずは水深530メートル、アブラボウズ主体のポイントでスタートとなった。  
幸先よく1流し目から右ミ

最初の流しでズドン

仕切り直して2月中旬、集まった深海ファンは8名。クジ引きで釣り座を決めて準備に取りかかると、「アブラボウズとメヌケの仕掛けを両方とも並べ」と船長。  
アブラボウズが多い場所、メヌケが多い場所と、ポイントごとにその都度アナウンスをしていくので、いつでも仕掛けをチェンジできる準備をしておくのだ。

もちろん、アブラボウズに的を絞るもよし、メヌケ狙いに専念するもよし、そこは各自のお好み次第。

**知得! Tips and Tricks**  
**アブラボウズという魚**  
アブラボウズを食用流通禁止魚のパラムツやアブラソコムツと混同している人も多いのだが、アブラボウズは立派な食用魚。とくに銚子や小田原では主要漁獲種として見られ、高値で取引される高級魚なのだ。私も自分が釣る魚の中ではアブラボウズは3本の指に入る食味のよさと思っている。とくに煮つけ、味噌漬は絶品だ。  
▶アブラボウズはヒレにトゲなどはなく魚体も軟らかいのが特徴



●しいな よしのり/メヌケの外道で釣れるドンコを捨てちゃう人がいるけど、身に肝と味噌と長ネギを加えて作る「たたき」は絶品だよ。試してみて!